

2023年9月29日

各位

株式会社三井住友銀行

NEC キャピタルソリューション株式会社に「ESG/SDGs 推進分析融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、NEC キャピタルソリューション株式会社（代表取締役社長：菅沼 正明）に対し、「ESG/SDGs 推進分析融資」を実施いたしました。

「ESG/SDGs 推進分析融資」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が作成した独自の評価基準に基づき企業の ESG（※1）側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）（※2）達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただく融資商品です。

今回の NEC キャピタルソリューション株式会社に対する評価結果は、「気候変動への対応」、「従業員への配慮」、「サステナビリティマネジメント」において非常に高い水準であると判断されました。

企業経営において大変優れた ESG 側面の取組と情報開示を実施されており、また、事業を通じた SDGs 達成への貢献意欲が高いとの判断となりました。

ESG 側面の取組、情報開示では、以下の点等が進んでいるとされました。

- ① 気候変動への対応として、2040 年度に向けたカーボンニュートラル目標や、リース満了品のリサイクル促進等に向けた数値目標を設定し、「中期計画 2025」において非財務目標として明記。また、TCFD のシナリオ分析を行い、気候変動に伴うリスクや機会を特定するとともに、エコリース・エコファイナンスや、再生可能エネルギー分野の事業を着実に進めておられる点。
- ② 働きやすい職場づくりや長時間労働の防止、有給休暇取得促進等、多様な働き方や健康経営に向けた取り組みを着実に進めている。また、「2025 年度までに女性管理職比率 10%」「従業員エンゲージメントスコア 34%」等の数値目標の設定や、障がい者の雇用機会の創出など、多様な人材の活躍を推進しておられる点。
- ③ 代表取締役社長を委員長としたサステナビリティ委員会を設置し、今期より役員報酬に ESG 指標を反映させるなど、サステナビリティの推進体制を強化している。また、2022 年に「NEC キャピタルソリューショングループ人権方針」を制定し、人権デューデリジェンスの実施を予定するなど、人権への取り組みを進めておられる点。

加えて、事業を通じて、SDGsが示す「目標7: エネルギーをみんなに そしてクリーンに」「目標11: 住み続けられるまちづくりを」「目標13: 気候変動に具体的な対策を」等の達成に向けた意欲をお持ちです。

三井住友銀行では、「ESG/SDGs 推進分析融資」により、お客さまのESG/SDGs への取組を、金融を通じて支援してまいります。

<ご参考>

※1 ESGとは

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

※2 SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上